

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|---|
| 事業名 | 「災害時要援護者支援ガイドブック」の作成及び第4回障害者・高齢者等災害時にいのちを守る防災のあり方を考えるシンポジウム in 千曲・坂城の開催 |
| 事業主体 (連絡先) | 特定非営利活動法人 介護家族サポートセンター レインボーハウス 〒387-0007 千曲市大字屋代98-5 tel/fax.026-272-5460 |
| 事業区分 | (4) 安全・安心な地域づくりに関する事業 |
| 事業タイプ | ソフト |
| 総事業費 | 3,020,864 円 (うち支援金: 2,416,000 円) |

事業内容

事業1) 「要支援者防災ガイドカレンダー 2017」の作成。以下の5種類を各500部、計2500部作成。

- ① 肢体不自由児・者、医療ケア児・者、及び介護者
- ② 知的障がい児・者、発達障がい児・者、精神障がい者及び介護者
- ③ 視覚障がい児・者、聴覚障がい児・者、及び介護者
- ④ 高齢者（認知症）、及び介護者
- ⑤ 外国人向け

事業2) 第4回障害者・高齢者等要援護者のいのちを守る防災のあり方を考えるシンポジウム in 千曲・坂城を、開催。とき；2017年3月5日（日）所；千曲市文化会館小ホール。参加者55名。



【 防災シンポジウム 】

【目標・ねらい】

- ① 要援護者の求める情報提供
- ② 要援護者に配慮した情報提供
- ③ 地元行政の監修を得て作成する
- ④ 他の市町村にも波及する

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 政策プロジェクトに、各要支援者の当事者及び介護者に入ってもらったので、要援護者の求める情報を記載できた。
- ② 自分の思いを周りの人に伝える「コミュニケーションボード」や視覚障がい者むけの「ユニボイス」・点字版等を利用できるようにした。
- ③ 千曲市の危機管理防災課・高齢福祉課の職員と一緒に内容を検討し、助言をもらう。
- ④ シンポジウムに、長野市の防災ネットワーク団体の役員も参加いただき、ガイドカレンダーを5種類手渡す。

※自己評価【A】

【理由】

- ・ これまでに、要支援者・介護家族の立場でつくられた防災ガイドはなかった。マスコミでも報道。
- ・ 他市町村への波及する予感と期待

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- 1) 障害者・高齢者等の関係団体から、防災ガイドカレンダー2017を届ける。尚、自分で支援者等書き込んで完成させるので、毎年更新できることが望ましい。
- 2) 9月の防災訓練には、要支援者及び介護家族も積極的に参加する。また、参加できるように配慮する。
- 3) ふだんから、そして災害時にも助けあえる街づくりをすすめる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

- 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
- 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある